

HA プロキシ ログイングの有効化

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[HAProxy ログを有効にする手順](#)

[関連するシスコ サポート コミュニティ ディスカッション](#)

概要

この記事では、Cisco Policy Suite (CPS) で High Available-Proxy (HA-Proxy) ログイングを有効にする手順について説明します。HAProxy は、高可用性のロード バランシング用に使用されます。パフォーマンス上の理由から、デフォルトでは HAProxy はメッセージをログに記録しません。

注：HA-Proxy に関連した問題が発生した場合のみ、HAProxy ログを有効にしてください。

背景説明

HA-Proxy ログイングは、CPS システム内の他のデバッグ ログによっても特定できないような、HA-proxy に関連する潜在的な問題が見られる場合のみ有効にする必要があります。

HAProxy ログを有効にする手順

すべての手順は、ロードバランサのフェイルオーバーが発生するたびに、HA-Proxy ログが処理されるように、アクティブなロードバランサ仮想マシン (VM) 上で実行し、パッシブなロードバランサで繰り返す必要があります。

1. `haproxy.cfg` ファイル (`/etc/haproxy/haproxy.cfg`) に移動し、次の図に示すように同じエントリがあることを確認します。デフォルトでは、ほとんどの場合でログ レベルが `debug` に設定されます。これを `err` に変更してください。そうしないと不要なログが記録されてしまいます。

```
stats auth      admin:broadhop # force HTTP Auth to view stats
stats refresh   60s          # refresh rate of stats page
log             127.0.0.1      local1 err
```

2. ログイングを実行するプロキシを選択します。 `svn_proxy`、 `pb_proxy`、 `Portal_admin_proxy` など、HAプロキシ設定ファイルには多数のプロキシ設定があります。次の画像では、 `svn_proxy` 用に HAProxy ログイングを有効にする手順を示します。

```
listen svn_proxy lbvip02:80
  mode http
  log global
  balance roundrobin
  option httpchk
  option httpclose
  option abortonclose
  server pcrfclient01 pcrfclient01:80 check inter 30s
  server pcrfclient02 pcrfclient02:80 check inter 30s backup
```

3. /etc/syslog.confファイルを編集し、次の図に示すようにエントリを追加します。local1 が手順1と同じ名前であることを確認してください。

```
# SNMP Trap Logs
local2.* /var/log/snmp/trap
# HA Proxy Logging
local1.* /var/log/haproxy.log
~
```

4. /etc/sysconfig/syslogファイルを編集し、次の図のように変更します。rのみ追加してください。これにより、リモートマシンでのロギングが保証されます。

```
# See syslogd(8) for more details
SYSLOGD_OPTIONS="-rm 0"
# Options to klogd
```

5. /etc/logrotate.d/syslogファイルを編集して、次の図に示すように/var/log/haproxy.logのエントリを追加することを確認してください。

```
/var/log/messages /var/log/secure /var/log/maillog /var/log/spooler /var/log/boot.log /var/log/cron /var/log/snmp/trap /var/log/haproxy.log |
sharedscripts
postrotate
  /bin/kill -HUP `cat /var/run/syslogd.pid 2> /dev/null` 2> /dev/null || true
  /bin/kill -HUP `cat /var/run/rsyslogd.pid 2> /dev/null` 2> /dev/null || true
endscript
```

7. service syslog restartおよびservice haproxy restartコマンドを使用して、syslogdおよびHA-Proxyプロセスを再起動してください。